

**DOON UNIVERSITY, DEHRADUN****Final Semester Examination, Sixth Semester, 2016
School of Languages****M.A. Integrated Japanese Language
Course: SLJ 306 (Advanced Text II)**

*Time Allowed: 3 Hours**Maximum Marks: 50**Note: Attempt All Questions from Sections A, B, C.***Section A**

Q.1 以下に書かれた漢字の読み方と意味を書きなさい。

点 : 10

溪谷、宿屋、稲妻、太鼓、三味線、湯殿、空虚、樹齡、屋根、合掌、挨拶、天麩羅、雲泥、放棄、評論、親譲り、喧嘩、苦情、駄目、口癖

Section B

Q.2 質問に答えなさい。

点 : 5*5=25

- ① 伊豆の踊り子の主人公はどんな人でしたか。例を挙げながら説明しなさい。
- ② 「今のうちに一生懸命に木を育てて、木の心を取り戻さないと、日本民族は滅びます。」この文章の意味を日本語で説明しなさい。
- ③ 「親譲りの無鉄砲で子供のときから損ばかりしている。」この文章の意味を例を挙げながら書きなさい。
- ④ くもの糸の教えは何ですか。具体的に書きなさい。
- ⑤ 芥川龍之介に書かれた『はな』や「くもの糸」の感想文を書きなさい。

Section C

Q.3. 英語で翻訳しなさい。

点 : 3*5=15

①道がつづらおりになって、いよいよ天城峠に近づいたと思うころ、雨脚が付きの密林を白く染めながら、すさまじい早さで麓から私を追って来た。私は二十歳、高等学校の制帽をかぶり、こんがすりのきものにはかまをはき、学生かぼんを肩にかけていた。一人伊豆の旅に出てから四日目のことだった。修善寺温泉に一夜泊まり、そしてほおばの高下駄で天城を登ってきたのだった。重なり合った山々や原生林や深い溪谷の秋にみとれながらも、私は一つの期待に胸をときめかして道を急いでいるのだった。

②母が病気で死ぬ二三日前所で宙返りをしてへっついの角であばら骨を打って大いに痛かった。母が大層怒って、お前のようなものの顔は見たくないというから、親類へ泊まりに行っていた。するとどうとう死んだという知らせが来た。そう早く死ぬとは思わなかった。そんな大病なら、もう少しおとなしくすればよかったと思って帰って来た。そうしたら例の兄がおれを親不孝だ、おれのためにおっかさんが早く死んだんと言った。悔しかったら、兄の横面を張って大変叱られた。

③学問は生来どれもこれも好きでない。ことに語学とか文学とかいうものはまっぴら御免だ。新体詩などと来ては二十行あるうちで一行もわからない。どうせ嫌いなものなら何をやっても同じことだと思ったが、幸い物理学校の前を通りかかったら生徒募集の広告が出ていたから、なにも縁だと思って規則書もらってすぐ入学の手続きをしてしまった。卒業してから八日目に校長が呼びにきたから、何か用だろうと思って出かけたら、四国辺のある中学校で数学の教師がいる。